

六 郷

○ひとりだちのできる たくましい生徒の育成
○人権感覚豊かな 思いやりのある生徒の育成

学校便り 8月号
令和2年8月5日
松阪市立嬉野中学校
校長 山下 隆久

Y G Gやる気・元気・頑張ろう week

35075回のありがとう

7月13日(月)～17日(金)の一週間、生徒会主催「YGGweek」がおこなわれました。やる気の「Y」、元気の「G」、頑張ろうの「G」で、この活動は2007年から13年間続いている、嬉野中学校自慢の生徒会活動です。「古紙回収」「あいさつ運動」「鍵ロック確認」「みだしなみ強化」「ノーチャイムデー」は始めた時からありましたが、最近「思いやりスリッパ」「ありがとうチャレンジ」が加わりました。



今回の「ありがとうチャレンジ」では、35075回のありがとうが一週間で交わされました。「ありがとう」という言葉は人の「笑顔」を生みます。嬉野中学校は「笑顔」と「ありがとう」のあふれる素敵な学校です。

生徒会役員の「YGGweekは終了しましたが、これからもYGGweekをきっかけに、学校生活をより良くしていきましょう！」というメッセージで、この活動が終了しました。



嬉野中発信！ 松阪地区に広がる

横断歩道「停まってくれてありがとう」運動

朝の登校の様子です。西門前の横断歩道で嬉野中生徒が待っていると、自動車運転者の方々は停車してくださいませ。それに対して生徒は「ありがとう」の気持ちを込めた会釈をします。



嬉野中学校では習慣となっているこの行動が松阪市議会で話題となり、「いいことだなあ。」「このことが松阪市全体に広がっていけばいいなあ。」という声があがって、今年3月頃から「横断歩道「停まってくれてありがとう」運動」と名付けられ、嬉野中学校の習慣が松阪市の他の中学校に広がっています。

みなさんの「ありがとう」の気持ちが、運転する人たちに温かな心を届けているのです。嬉野中の「笑顔」と「あいさつ」が地域貢献をしている一場面です。

松阪地区総合体育大会

3年生にとって最後の中体連大会が7月25日から始まりました。

コロナの影響で県、全国大会が中止となり、全国への挑戦は叶わなくなった3年生ですが、同級生や後輩たちの仲間とともに夢に挑戦し続けた3年間は、生涯の財産となる貴重な時間です。

その3年生を後押しする応援ポスターを美術部のみなさんがつくってくれました。躍動感あふれる力強い、素敵なポスターです。ロビーに掲示するとともに、3年生の各クラスにも掲示しました。



美術部のみなさん素敵な応援ポスターありがとう！

食事をつくってくださる人 給食をつくってくださる人の 思いを知ろう！～1年生食育授業～

学校教育では、様々な経験を通して「食」に関する知識とバランスの良い「食」を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することのできる人間を育てることを目的として、「食育」がおこなわれています。



写真は7月30日に1年4組で実施された食育授業の様子です。北部給食センターでは約4000人の給食をつくる調理員の方々が考えたり思ったりしていることを、栄養教諭の武中先生に伝えていただきました。

食べる力は生きる力です。つくってくださる方の思いを感じとって食事をいただきましょう。
「いただきます」は感謝の言葉です！



学年体育大会

全校体育大会は中止となりましたが、各学年各学級のリーダーが話し合いをしながら準備して学年体育大会をしました。写真は7月27日に実施された3年生体育大会の様子です。3年生の全員リレーと大縄は迫力満点でした。



学校を閉じる日

今年度8月11日（火）～14日（金）の4日間、学校を閉じさせていただきます。職員が出勤しておりませんのでご了解ください。

